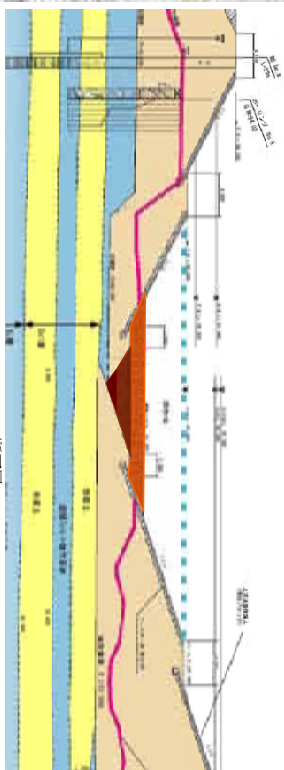


## 雨水調整池

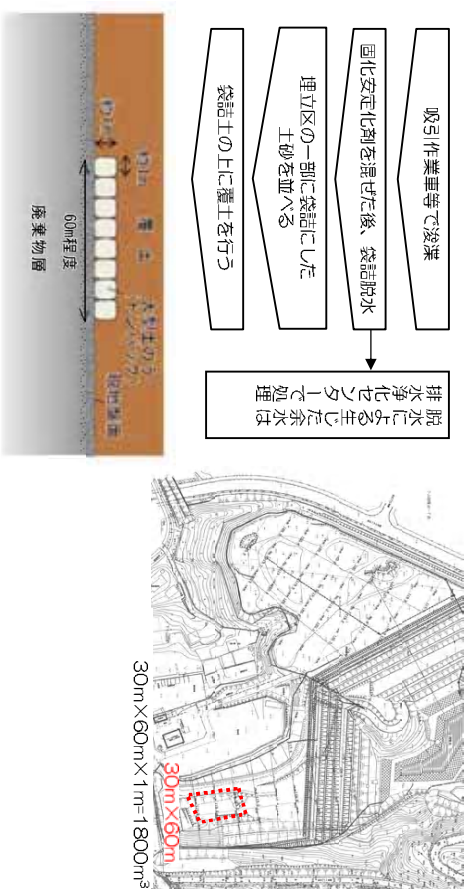
### (1) 雨水調整池の堆積土砂の状況

- ・有機物を含む泥状の土砂が1~3m程度堆積していると想定される。土量は1,800m<sup>3</sup>と推定される。
- ・ダイオキシン類(含有量は230 pg-TEQ/g)が底質の環境基準(150 pg-TEQ/g以下)を超過(土壌の環境基準(1000 pg-TEQ/g以下)は超過していない、また調査指標250 pg-TEQ/gも超過していない)



### (2) 浚渫土の処理方法 大型土のうに袋詰にして、覆土材の下に埋設

- ・袋詰にすることで覆土前の土壌の飛散を防止する。底質が湿っている状況で袋詰するため、作業中の飛散は生じない。
- ・固化剤を混ぜることで流出を防止する。
- ・周囲の覆土と区別することができる。
- ・約1mの高さがあるため、覆土が厚いところに埋設する。
- ・埋設を狭い範囲で行うことが可能である。
- ・埋設範囲を明示し、近傍の観測孔でモニタリングを行うことで監視が可能である。



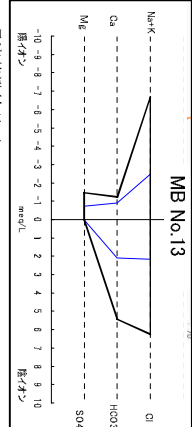
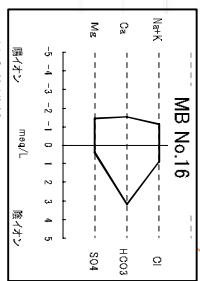
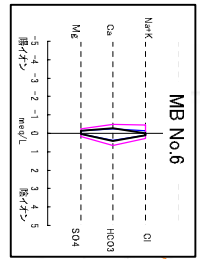
# 補足資料 1 旧埋立地調査結果



**廃棄物層中**

- 埋立ガス：排出ガス量流量 0.012 m³/時、メタンガスが高濃度で検出、ベンゼンが環境基準値を上回った。
- 地中温度：外気温より低く、概ね 15~20℃

廃棄物層の下に透水性の小さい粘土層を確認



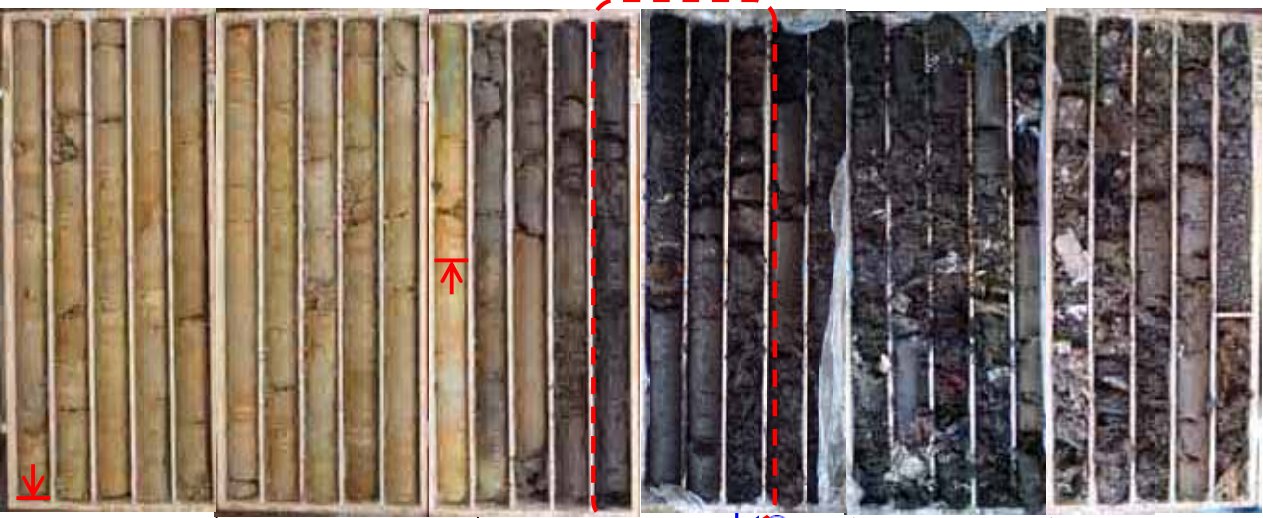
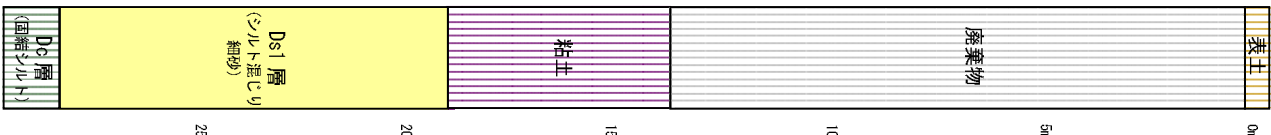
鉛：環境基準値を上回った (H18年度)  
その他：環境基準値以下

環境基準値以下

環境基準値以下

項目	測定値	環境基準値
鉛	0.012	0.01
その他	環境基準値以下	環境基準値

：平成 18 年度調査結果  
：平成 19 年度調査結果  
：平成 20 年度調査結果



メタンガス発生

平衡水位 (Ds1 層透水試験時)  
GL-11.7m

GL-12.7m (廃棄物層中)

刺激臭 (油臭) あり

Ds1 層で透水試験を実施  
透水係数： $9.36 \times 10^{-5} \text{cm/s}$

→ ←

ストレーチャー区間

補足資料 2 地下水調査（イオンバランス調査）結果の見方

